

周防大島町地域おこし協力隊

～周防大島の魅力に気づき、楽しむことが元気に～



三浦 宏之 隊員

「周防大島の宣伝部長になります」そうお話ししたのが、2012年秋、地域おこし協力隊の採用試験でのこと。インターネット上にたくさん周防大島を書くこと、メディア取材誘致などと並行して、新たにイベントを立ち上げることも目標のひとつでした。

しかし、周防大島に暮らしてみても気づくのは、新旧イベントごとの多いこと。周防大島にはすでに多くの魅力がありました。地域ごとに行われているお祭り、盆踊り、年中行われていた餅まき、お大師堂とお接待石積み、田舎の棚田は見た目にも美しく、現役であるということがまた素晴らしい。薪で風呂を沸かす、耕作放棄地を開墾する、荒廃竹林の整備、里山再生など、嫌がられる類の労働かもしれませんが、都会では体験できないアクティビティと捉えれば楽しくなります。

私も含め、田舎仕事に憧れを持った人は少なくないと思います。毎月1回1時間の海岸清掃「島くらす海そうじ」もまた島暮らしへの憧れのひとつでした。自分たちの手で目の前の海岸がきれいになるのは清々しく、そこに集う同じ志をもった人たちとの会話も気持ちいい。地方には地方が持っている「魅力」があります。より多くの魅力に気づき、その魅力を楽しむことが「周防大島を元気にする」と感じています。

周防大島町に吹く新しい風、地域おこし協力隊は、町民のために頑張っています。

今後とも、皆さんの温かいご支援をお願いします。

久賀ビーチ海水浴場 シーズン到来!!



▲ 地域おこし協力隊等の主催で
綺麗に清掃されたビー玉海岸

久賀ビーチ海水浴場は、久賀宗光西地区の西神社付近の海岸を人工的に海水浴場として整備し、観光客の誘致に取り組んでいる施設である。

ビー玉のように海水が透きとおって見えるような綺麗な海水浴場をイメージし命名された。

7月7日には、周防大島観光協会の主催で「海開き」があった。

編集後記

今国会において選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が全会一致により可決、成立しました。

当町においても、来年秋には町長・町議会議員選挙が予定されています。若者の声を政治に反映させ、多くの政治課題は若者の未来と直結することから、将来の政策も彼らの声に耳を傾け決めなければなりません。議員も、これまで以上に若者のための政治を心掛けることとなります。

当町においては、18、19歳の未成年者約300人が有権者に加わる見込みで、社会や地域の課題を自分の問題と捉えて主体的に関わるようにする「主権者教育」の充実が課題となってきました。その点からも情報提供として「議会だより」の役割が重要となってきました。

(平川 敏郎)

議会広報編集特別委員会

委員長 吉田 芳春

副委員長 濱本 康裕

委員 平川 敏郎 田中隆太郎

魚原 満晴 今元 直寛

松井 岑雄